

■ Q&Aコーナー

TownsGEARでEUPファイルを演奏したら音色が変?!

Q: TownsGEARの演奏機能によって、システムソフトの中に入っている『FJ』ディレクトリの中のEUPデータを演奏したところピコピコというなまけない音色になってしまいます。プラザでdemoしていた演奏は綺麗な音色だった筈ですが・・・?

A: TownsシステムCDの中の『FJ』ディレクトリの中には、TownsGEARやF-BASIC等のプログラム開発ツールで利用できる効果音やイラストデータや演奏データが数多く収録されています。ご質問のEUPデータ(演奏データ)ファイルの音色の件ですが、この現象はEUPデータが演奏される際に必要になる音色ファイルが存在しないことが原因で発生するものです。

EUPデータファイルは『EUPHONY』で使う演奏データであり、そのデータファイルは演奏に必要な属性データとMIDI規格に準拠した演奏データによって構成されています。TownsシステムCDの『FJ』に収録されている23個のEUPファイルは、外部の音源装置で演奏する通常のEUPデータファイルとは異なり、『FM TOWNS内蔵音源』で演奏するような設定がされています。この内蔵音源の設定には、演奏に使用する『FM音源ファイル名(???. FMB)』と『PCM音源ファイル名(???. PMB)』が指定されています。

TownsGEARの演奏機能はEUPデータファイルに記録された音源ファイル名の音源データをロードし、演奏をする仕掛けになっています。音源ファイルをロードする際に、ノートと同じディレクトリに音源ファイルが存在しなければならぬという注意事項があります。ご質問の件は音源ファイルが必要なディレクトリに存在せず音源データがロードできなかったために起こったものと考えられます。

TownsGEARで演奏を行う場合は、ノートと同じディレクトリにTownsシステムCDの『FJ』と『FJ』の中のファイルを複製しておきましょう。また、ノートを作成しているドライブに全ての音源ファイルを複製できる余裕が無い場合は、必要な音源ファイルだけ複製してください。下表に各EUPに必要な音源ファイルを紹介します。

演奏ファイル名	FM音源ファイル	PCM音源ファイル
BACH. EUP	MT32FM. FMB	CLASSIC1. PMB
BG1. EUP	MT32FM. FMB	RYM ALL1. PMB
BG2. EUP	MT32FM. FMB	RYM ALL1. PMB
BG3. EUP	MT32FM. FMB	SAX TRP. PMB
BG4. EUP	MT32FM. FMB	CLASSIC1. PMB
BIZET. EUP	MT32FM. FMB	SAX TRP. PMB
BRAHMS. EUP	MT32FM. FMB	CLASSIC1. PMB
CHOPIN. EUP	MT32FM. FMB	CLASSIC1. PMB
DEBUSSY. EUP	MT32FM. FMB	CLASSIC1. PMB
END1. EUP	MT32FM. FMB	
END2. EUP	MT32FM. FMB	RYM ALL1. PMB
END3. EUP	MT32FM. FMB	RYM ALL1. PMB
FAURE. EUP	MT32FM. FMB	CLASSIC1. PMB
HANDEL. EUP	MT32FM. FMB	CLASSIC1. PMB
JAZZ. EUP	FMP. FMB	CLASSIC1. PMB
MOZART. EUP	MT32FM. FMB	SAX TRP. PMB
MUSSORG. EUP	MT32FM. FMB	CLASSIC1. PMB
OPEN1. EUP	MT32FM. FMB	SAX TRP. PMB
OPEN2. EUP	MT32FM. FMB	RYM ALL1. PMB
OPEN3. EUP	MT32FM. FMB	CLASSIC1. PMB
PARK. EUP	MT32FM. FMB	SAX TRP. PMB
ROCK. EUP	MT32FM. FMB	RYM ALL5. PMB
SAITE. EUP	MT32FM. FMB	CLASSIC1. PMB